

# 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分

(2025年12月第2回訂正分)

## 株式会社ミラティブ

ブックビルディング方式による募集における発行価格及びブックビルディング方式による売出しにおける売価格等の決定に伴い、金融商品取引法第7条第1項により有価証券届出書の訂正届出書を2025年12月10日に関東財務局長に提出し、2025年12月11日にその届出の効力は生じております。

### ○ 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正理由

2025年11月14日付をもって提出した有価証券届出書及び2025年12月2日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書の記載事項のうち、ブックビルディング方式による募集1,176,400株の募集の条件及びブックビルディング方式による売出し7,247,900株(引受人の買取引受による売出し6,149,100株・オーバーアロットメントによる売出し1,098,800株)の売出しの条件並びにこの募集及び売出しに関し必要な事項が、ブックビルディングの結果、2025年12月10日に決定したため、これらに関連する事項を訂正するため有価証券届出書の訂正届出書を提出いたしましたので、新株式発行並びに株式売出届出目論見書を訂正いたします。なお、上記引受人の買取引受による売出しについては、2025年12月10日に、日本国内において販売される株数が4,946,600株、欧州及びアジアを中心とする海外市場(ただし、米国及びカナダを除きます。)の海外投資家に対して販売される株式数が1,202,500株と決定されております。

○ 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には\_\_\_\_\_罫を付し、ゴシック体で表記しております。

## 第一部 【証券情報】

### 第1 【募集要項】

#### 1 【新規発行株式】

##### <欄外注記の訂正>

(注) 2. 「第1 募集要項」に記載の募集(以下「本募集」という。)並びに「第2 売出要項 1 売出株式(引受人の買取引受による売出し)」及び「2 売出しの条件(引受人の買取引受による売出し)」に記載の引受人の買取引受による売出しにあたっては、その需要状況を勘案した結果、オーバーアロットメントによる売出し1,098,800株を追加的に行います。

なお、オーバーアロットメントによる売出しについては、「第2 売出要項 3 売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)」及び「4 売出しの条件(オーバーアロットメントによる売出し)」をご参照下さい。

## 2 【募集の方法】

2025年12月10日に決定された引受価額(791.20円)にて、当社と元引受契約を締結した後記「4 株式の引受け」欄記載の金融商品取引業者(以下「第1 募集要項」において「引受人」という。)は、買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(発行価格860円)で本募集を行います。引受人は払込期日に引受価額の総額を当社に払込み、本募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。当社は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

なお、本募集は、株式会社東京証券取引所(以下「取引所」という。)の定める「有価証券上場規程施行規則」第246条に規定するブックビルディング方式(株式の取得の申込みの勧誘時において発行価格又は売出価格に係る仮条件を投資家に提示し、株式に係る投資家の需要状況を把握したうえで発行価格等を決定する方法をいう。)により決定された価格で行います。

### <欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「462,678,120」を「465,383,840」に訂正。

「計(総発行株式)」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「462,678,120」を「465,383,840」に訂正。

### <欄外注記の訂正>

(注) 4. 資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であります。

### (注) 5. の全文削除

### 3 【募集の条件】

#### (2) 【ブックビルディング方式】

##### <欄内の数値の訂正>

「発行価格(円)」の欄：「未定(注)1」を「860」に訂正。

「引受価額(円)」の欄：「未定(注)1」を「791.20」に訂正。

「資本組入額(円)」の欄：「未定(注)3」を「395.60」に訂正。

「申込証拠金(円)」の欄：「未定(注)4」を「1株につき860」に訂正。

##### <欄外注記の訂正>

- (注) 1. 発行価格は、ブックビルディング方式によって決定いたしました。その状況については、以下のとおりであります。
- 発行価格の決定に当たりましては、仮条件(850円～860円)に基づいて機関投資家等を中心にブックビルディングを実施いたしました。当該ブックビルディングにおきましては、募集株式数1,176,400株、引受人の買取引受による売出し株式数6,149,100株及びオーバーアロットメントによる売出し株式数上限1,098,800株(以下総称して「公開株式数」という。)を目的に需要の申告を受け付けました。
- その結果、以下の点が特徴として見られました。
- ①申告された総需要株式数は、公開株式数を十分に上回る状況であったこと。
- ②申告された総需要件数が多数にわたっていたこと。
- ③申告された需要の価格毎の分布状況は、仮条件の上限価格に集中していたこと。
- 上記ブックビルディングの結果、公開株式数以上の需要が見込まれる価格であり、現在の株式市場の状況、最近の新規上場株に対する市場の評価及び上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に勘案して、860円と決定いたしました。
- なお、引受価額は、791.20円と決定いたしました。
2. 「2 募集の方法」の冒頭に記載のとおり、発行価格(860円)と会社法上の払込金額(722.50円)及び2025年12月10日に決定された引受価額(791.20円)とは各々異なります。発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。
3. 資本組入額は、1株当たりの増加する資本金であります。なお、2025年11月14日開催の取締役会において、増加する資本金及び資本準備金に関する事項として、増加する資本金の額は、引受価額を基礎として、会社計算規則第14条第1項に基づき算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする、及び増加する資本準備金の額は資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする旨を決議しております。この取締役会決議に基づき、2025年12月10日に資本組入額(資本金に組入れる額)を1株につき395.60円(増加する資本準備金の額の総額465,383,840円)と決定いたしました。
4. 申込証拠金には、利息をつけません。申込証拠金のうち引受価額相当額(1株につき791.20円)は、払込期日に新株式払込金に振替充当いたします。
7. 販売に当たりましては、取引所の「有価証券上場規程」に定める株主数基準の充足、上場後の株式の流通性の確保等を勘案し、需要の申告を行わなかった投資家にも販売が行われることがあります。
- 引受人及びその委託販売先金融商品取引業者は、公平かつ公正な販売に努めることとし、各社で定める配分に関する基本方針及び社内規程等に従い、販売を行う方針であります。配分に関する基本方針については、各社の店頭における表示又はホームページにおける表示等をご確認下さい。

#### (注) 8. 全文削除

#### 4 【株式の引受け】

##### <欄内の数値の訂正>

「引受けの条件」の欄：

2. 引受人は新株式払込金として、2025年12月17日までに払込取扱場所へ引受価額と同額(1株につき791.20円)を払込むことといたします。
3. 引受手数料は支払われません。ただし、発行価格と引受価額との差額(1株につき68.80円)の総額は引受人の手取金となります。

##### <欄外注記の訂正>

(注) 上記引受人と2025年12月10日に元引受契約を締結いたしました。ただし、元引受契約の締結後、同契約の解除条項に基づき、同契約を解除した場合、株式の募集を中止いたします。

#### 5 【新規発行による手取金の使途】

##### (1) 【新規発行による手取金の額】

##### <欄内の数値の訂正>

「払込金額の総額(円)」の欄：「925,356,240」を「930,767,680」に訂正。

「差引手取概算額(円)」の欄：「902,356,240」を「907,767,680」に訂正。

##### <欄外注記の訂正>

(注) 1. 払込金額の総額は、会社法第199条第1項第2号所定の払込金額の総額とは異なり、新規発行に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であります。

##### (2) 【手取金の使途】

上記の差引手取概算額907,767千円については、主に当社グループの主力事業であるミラティブ事業を中心としたマーケティング費用、新規ライブゲームの開発費及び運営費、採用費及び増加する人件費、並びに長期借入金の返済に充当する予定であり、その具体的な内容及び充当期は以下の通りであります。

##### ① マーケティング費用

NUU(New Unique Users)獲得を目的としたデジタルマーケティング費用として、500,000千円(2026年12月期：200,000千円、2027年12月期：300,000千円)を充当する予定です。

##### ② 新規ライブゲームの開発費及び運営費

2026年12月期以降にリリースを予定している新規ライブゲームの開発費及びその運営費として、150,000千円(2026年12月期：50,000千円、2027年12月期：100,000千円)を充当する予定です。

##### ③ 採用費及び増加する人件費

事業拡大及び内部管理体制等の強化を目的とした追加人員の採用に伴う採用費及び採用により増加する人件費として、150,000千円(2026年12月期：50,000千円、2027年12月期：100,000千円)を充当する予定です。

##### ④ 長期借入金の返済

上記使途以外の残額は、借入金の返済財務コスト軽減を目的とした金融機関からの長期借入金の返済資金として充当する予定です。

なお、具体的な充当期までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

## 第2 【売出要項】

### 1 【売出株式（引受人の買取引受による売出し）】

2025年12月10日に決定された引受価額(791.20円)にて、当社と元引受契約を締結した後記「2 売出しの条件(引受人の買取引受による売出し) (2) ブックビルディング方式」に記載の金融商品取引業者(以下「第2 売出要項」において「引受人」という。)は、下記売出人から買取引受を行い、当該引受価額と異なる価額(売出価格860円)で売出しを行います。引受人は株式受渡期日に引受価額の総額を売出人に支払い、引受人の買取引受による売出しにおける売出価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。売出人は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

#### <欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「売出数(株)」の欄：「6,149,100」を「4,946,600」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出数(株)」の欄：「6,149,100」を「4,946,600」に訂正。

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「5,257,480,500」を「4,254,076,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「5,257,480,500」を「4,254,076,000」に訂正。

#### <欄外注記の訂正>

- (注) 2. 引受人の買取引受による売出しに係る売出株式6,149,100株のうちの一部が、引受人の関係会社等を通じて、欧州及びアジアを中心とする海外市場(ただし、米国及びカナダを除く。)の海外投資家に対して販売(以下「引受人の買取引受による売出しにおける海外販売」といい、引受人の買取引受による売出しにおける海外販売の対象となる株数を「引受人の買取引受による売出しにおける海外販売株数」という。)されます。上記売出数4,946,600株は、引受人の買取引受による売出しにおける日本国内において販売(以下「引受人の買取引受による売出しにおける国内販売」という。)される株数(以下「引受人の買取引受による売出しにおける国内販売株数」という。)であり、引受人の買取引受による売出しにおける海外販売株数は、1,202,500株であります。また、上記売出しに係る株式の所有者の売出株数には、海外販売に供される株式数が含まれます。引受人の買取引受による売出しにおける海外販売に関しましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2. 本邦以外の地域において開始される売出しに係る事項について」をご参照ください。
4. 売出価額の総額は、引受人の買取引受による売出しにおける国内販売株数に係るものであり、引受人の買取引受による売出しにおける海外販売株数に係るものにつきましては、「募集又は売出しに関する特別記載事項 2. 本邦以外の地域において開始される売出しに係る事項について」をご参照ください。
5. 売出数は6,149,100株に決定いたしました。
7. 本募集並びに引受人の買取引受による売出しにあたっては、需要状況を勘案した結果、オーバーアロットメントによる売出し1,098,800株を行います。なお、オーバーアロットメントによる売出しについては、「3 売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)」及び「4 売出しの条件(オーバーアロットメントによる売出し)」をご参照下さい。

## 2 【売出しの条件（引受人の買取引受による売出し）】

### (2) 【ブックビルディング方式】

#### <欄内の記載の訂正>

「売出価格(円)」の欄：「未定(注)1(注)2」を「860」に訂正。

「引受価額(円)」の欄：「未定(注)2」を「791.20」に訂正。

「申込証拠金(円)」の欄：「未定(注)2」を「1株につき860」に訂正。

「元引受契約の内容」の欄：「未定(注)3」を「(注)3」に訂正。

#### <欄外注記の訂正>

(注) 2. 売出価格及び申込証拠金は、本募集における発行価格及び申込証拠金とそれぞれ同一の理由により決定いたしました。ただし、申込証拠金には、利息をつけません。

#### 3. 元引受契約の内容

各金融商品取引業者の引受株数	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	2,002,600株
	モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社	1,436,600株
	大和証券株式会社	2,197,600株
	みずほ証券株式会社	219,700株
	株式会社SBI証券	146,500株
	楽天証券株式会社	29,300株
	東海東京証券株式会社	21,900株
	岡三証券株式会社	21,900株
	マネックス証券株式会社	14,600株
	松井証券株式会社	14,600株
	岩井コスモ証券株式会社	14,600株
	丸三証券株式会社	14,600株
	極東証券株式会社	14,600株

引受人が全株買取引受けを行います。各金融商品取引業者の引受株数には、海外販売に供される株式数が含まれます。

なお、元引受契約においては、引受手数料は支払われません。ただし、売出価格と引受価額との差額(1株につき68.80円)の総額は引受人の手取金となります。

4. 上記引受人と売出価格決定日(2025年12月10日)に元引受契約を締結いたしました。ただし、同契約の解除条項に基づき、同契約を解除した場合、株式の売出しを中止いたします。

8. 引受人は、上記引受株式数のうち、2,000株について、全国の販売を希望する引受人以外の金融商品取引業者に販売を委託いたします。

### 3 【売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)】

#### <欄内の記載の訂正>

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「939,474,000」を「944,968,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「939,474,000」を「944,968,000」に訂正。

#### <欄外注記の訂正>

- (注) 1. オーバーアロットメントによる売出しは、本募集並びに引受人の買取引受による売出しに伴い、その需要状況を勘案した結果、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が行う売出しであります。オーバーアロットメントによる売出しに係る株式数は、2025年12月10日に決定された本募集に係る発行数と引受人の買取引受による売出しに係る売出株式数の合計の15%となります。
5. 振替機関の名称及び住所は、「第1 募集要項 1 新規発行株式」の(注)4.に記載した振替機関と同一であります。

#### (注) 5. の全文削除及び6. の番号変更

### 4 【売出しの条件(オーバーアロットメントによる売出し)】

#### (2) 【ブックビルディング方式】

#### <欄内の数値の訂正>

「売出価格(円)」の欄：「未定(注)1」を「860」に訂正。

「申込証拠金(円)」の欄：「未定(注)1」を「1株につき860」に訂正。

#### <欄外注記の訂正>

- (注) 1. 売出価格及び申込証拠金については、引受人の買取引受による売出しにおける売出価格及び申込証拠金とそれぞれ同一の理由により、2025年12月10日に決定いたしました。ただし、申込証拠金には、利息をつけません。

## 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

### 2. 本邦以外の地域において開始される売出しに係る事項について

引受人の買取引受による売出しに係る売出株式のうちの一部が、引受人の関係会社等を通じて、欧州及びアジアを中心とする海外市場（ただし、米国及びカナダを除く。）の海外投資家に対して販売されます。以下は、かかる引受人の買取引受による売出しにおける海外販売の内容として、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号に掲げる各事項を一括して掲載したものであります。なお、引受人の買取引受による売出しに係る売出株式以外の本届出の対象となる株式については、海外投資家への販売は行われません。

#### (2) 引受人の買取引受による売出しにおける海外販売の売出数(海外販売株数)

1,202,500株

(注) 上記の売出数は、引受人の買取引受による売出しにおける海外販売株数であり、本募集及び引受人の買取引受による売出しの需要状況等を勘案した結果、2025年12月10日に決定されました。

#### (3) 引受人の買取引受による売出しにおける海外販売の売出価格

1株につき860円

(注) 1. 2. の全文削除

#### (4) 引受人の買取引受による売出しにおける海外販売の引受価額

1株につき791.20円

(注)の全文削除

#### (5) 引受人の買取引受による売出しにおける海外販売の売出価額の総額

1,034,150,000円

### 3. グリーンシュエアオプションとシンジケートカバー取引について

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が当社株主であるグロービス5号ファンド投資事業有限責任組合、Globis Fund V, L.P.、ANRI 3号投資事業有限責任組合及びテクノロジーベンチャーズ4号投資事業有限責任組合（以下「貸株人」という。）より借入れる株式であります。これに関連して、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、1,098,800株について貸株人より追加的に当社株式を取得する権利（以下「グリーンシュエアオプション」という。）を、2025年12月25日を行使期限として貸株人より付与されております。

また、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、2025年12月18日から2025年12月25日までの間、貸株人から借入れる株式の返還を目的として、モルガン・スタンレーMUF証券株式会社及び大和証券株式会社と協議の上、東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数を上限とするシンジケートカバー取引を行う場合があります。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、上記シンジケートカバー取引により取得した株式について、当該株式数については、グリーンシュエアオプションを行使しない予定であります。また、シンジケートカバー取引期間内においても、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社はモルガン・スタンレーMUF証券株式会社及び大和証券株式会社と協議の上、シンジケートカバー取引を全く行わないか又は上限株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。